

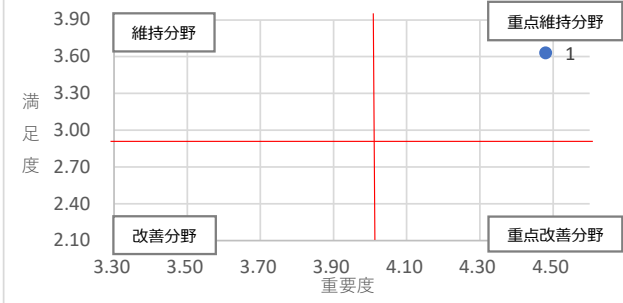
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	消防庁舎維持管理経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	職員	目的	消防庁舎の適切な維持管理を行う。				
事業概要	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	消防庁舎維持管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	8,924	7,252				
	概算人件費	1,402	1,402				
	トータルコスト	10,326	8,654	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.33 人		1,402 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,402 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	計画値						
	実績値						
②	計画値						
	実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・通常業務以外に、消防庁舎大規模改修工事設計業務委託（令和4年度～令和5年度継続）完了。建築確認申請を関係機関に提出。
	課題	・令和6年度からの消防庁舎大規模改修工事施工により、工事行程等で環境面や消防業務を維持しながら最小限の影響になるよう検討課題である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	分団施設維持管理経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	消防団	目的	消防団詰所の適切な維持管理を行う。				
事業概要	消防団の活動拠点である分団詰所を適切に管理し、消防団員の活動環境の向上を図る。						

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業
						分団施設維持管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	5,237	937			
	概算人件費	533	533			
	トータルコスト	5,770	1,470	0	0	0
	国庫/県支出金	2,271	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 5 概算人件費	正規職員	0.10 人		533 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			533 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	計画値						
	実績値						
②	計画値						
	実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・通常業務以外に、第４分団詰所修繕工事により、屋根・外壁補修塗装及びシャッターの取替えを実施。また、車両出入口上部に夜間照明を新設して機能向上を図った。
	課題	・引続き、詰所を定期的に管理を行う中で、第２分団等は老朽化が著しく維持管理が課題である。。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

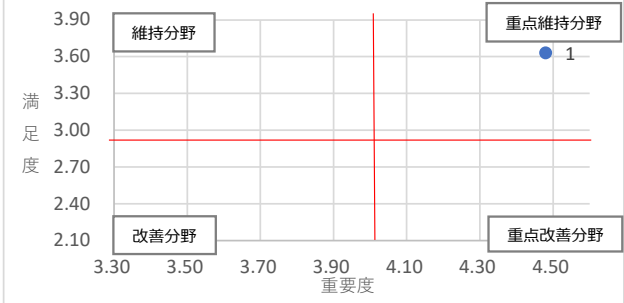
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	火災予防活動経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、事業所		目的	住宅防火対策の推進及び各種事業所との協力による防火体制の確保。			
事業概要	町民等の防火思想の普及啓発を図るとともに、住宅用火災警報器の全戸設置や高齢者死傷事故防止対策の推進など、住宅防火対策や、町内の事業所や危険物施設に対する消防法令の遵守指導を行う。						

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 火災予防活動経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	163	137			
	概算人件費	980	980			
	トータルコスト	1,143	1,117	0	0	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 5 概算人件費	正規職員	0.2 人		980 千円		
	再任用職員	0 人		千円		
	会計年度任用職員	0 人		千円		
	その他	0 人		千円		
	合計			980 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	住宅防火出前講座と事業所連携の防火講習開催数（回）	計画値	11	11	11	11	11
		実績値	13				
②	各種事業所担当者の防火研修派遣者数（人）	計画値	0	0	0	0	0
		実績値	8				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・防火講習開催数について、実績値は基準値を超えている。講習内容は最新の消防白書などの統計や関東大震災から100年などのトピックに沿った講習を実施した。 ・防火研修派遣者数について、令和5年度から二宮町防火安全協会会員事業所に協力依頼し実施できた。
	課題	・防火講習開催数について、回数増をするには予防班の立入検査業務との兼ね合いや人力的に難しい。 ・防火研修派遣者数は、事業所の都合などがあるため、丁寧な依頼と充実強化を続けるしかないと考える。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	消防職員教育推進事業（一般経費）				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	職員	目的	消防の専門的知識と技術を習得した職員を効率的に配置するために教育派遣及び各種資機材取扱い資格の取得に関する計画を元にした教育を行う。				
事業概要	職員の諸手当、旅費、負担金その他被服等を管理し、円滑な業務運営を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	一般経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	515	1,292				
	概算人件費	944	944				
	トータルコスト	1,459	2,236	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.21 人		944 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			944 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	計画による教育・資格取得者数（人）	計画値	16	17	11	7	12
		実績値	10				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・消防職員教育計画に基づき、消防大学校「上級幹部科」１名。消防学校における初任教育２名、専科教育３名、特別教育２名の教育実施。また、小型移動式クレーン技能講習、救急活動に必要な資格等も習得させ、継続的に教育訓練を実施。
	課題	・職員構成の変化により、消防職員教育計画の見直し検討が必要である。職員配置を考慮すると救急救命士数の不足が見込まれるため、計画的な救急救命士の養成が課題であり、更には、指導救命士の養成も検討課題である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	応急手当普及活動経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民・事業所	目的	生活様式の変化に合わせ、町民のニーズに合った講習会を開催し、応急手当の更なる普及啓発を図る。				
事業概要	住民に対し応急手当の普及啓発を図り、応急手当及び救命処置の正しい知識と技術の拡散により、傷病者の救命率向上を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	応急手当普及活動経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	131	52				
	概算人件費	677	677				
	トータルコスト	808	729	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.16 人		677 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			677 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	新たな取り組みによる応急手当の普及（回）	計画値	15	15	15	15	15
		実績値	12				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、前年度より講習回数が増えた。また、昨年度から引き続き個人における事前のWEB講習受講必須とし講習時間の見直し、受講人数軽減など講習会開催方法の見直しを図る。
	課題	・令和6年度から7年度で消防庁舎大規模改修が計画されていることから、講習会の開催場所について検討が必要である。 ・１回の開催に多数受講者（30人程度）がいる場合もあることから、受講者人数を削減している中で、開催方法などが課題である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	警防活動経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	職員、事業所	目的	地域特性に応じた消防活動対策や、各種事業所等との連携を図ることにより、大規模災害や特殊災害等への対応強化を図る。				
事業概要	各種災害に対して適切な消防活動を図るため、装備品及び資機材を万全な状態で整備又は維持管理する。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	警防活動経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	5,503	1,464				
	概算人件費	1,352	1,352				
	トータルコスト	6,855	2,816	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.29 人		1,352 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,352 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	地域特性に応じた消防活動対策	計画値	2	2	2	2	2
		実績値	2				
②	防火管理者等との連携訓練	計画値	0	1	1	1	1
		実績値	1				
③	各種事業所との連携訓練	計画値	2	2	2	2	2
		実績値	1				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・町内における防火対象物事業所との消防訓練を先行的に実施。また、電力会社との特殊専門的な災害対応訓練を実施した。
	課題	・各種事業所との訓練を引続き積み重ね、更には、近隣消防本部等を含めた各事業所との連携訓練の企画・計画が必要課題である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

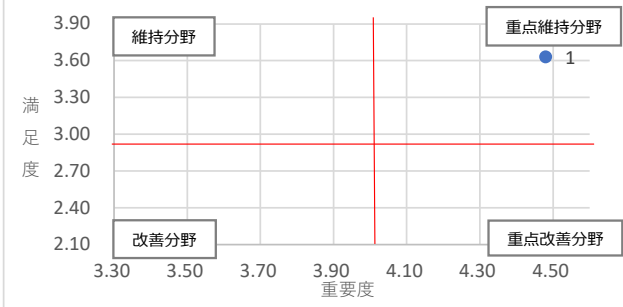
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	職員	目的	緊急消防援助隊における活動維持と受援時の活動を円滑に行う。				
事業概要	大規模災害等の発生に際し、当町の部隊等が被災地に出動又は当町が受援する場合に、円滑な活動を実施するために必要な経費。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	緊急消防援助隊活動経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	279	277				
	概算人件費	1,084	1,084				
	トータルコスト	1,363	1,361	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.26 人		1,084 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,084 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	各種計画等に基づく連携訓練回数（回）	計画値	3	3	3	3	3	3
		実績値		3				
②	消防受援訓練実施回数（回）	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値		1				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・国内で発生した災害に対する緊急消防援助隊における出動や活動が迅速に対応できるように、県内外の消防本部との連携や訓練を実施した。
	課題	・令和６年１月に能登半島地震発生により、神奈川県大隊として出動した事案に対して、実践的な活動や運営に対する課題を継続的に検証する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

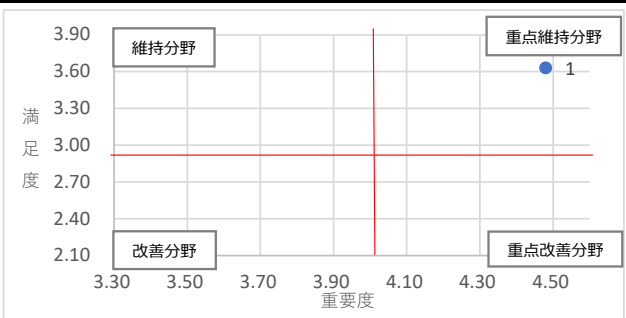
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	救急救助活動経費				所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、職員、事業所	目的	救急全般及び救助における安定した業務及び充実強化を図る。				
事業概要	救急隊員の知識技術の向上を目的とした研修及び訓練の実施と各種災害に対する救助活動マニュアルを策定による活動の平準化により消防力の向上を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	救急救助活動経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	6,787	7,045				
	概算人件費	4,278	4,300				
	トータルコスト	11,065	11,345	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	人		千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			0 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	救急隊員の教育研修（訓練）実施数	計画値	12	12	12	12	12	12
		実績値		16				
②	災害別救助マニュアルの整備数	計画値	-	0	1	1	1	1
		実績値		0				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	-
	課題	-
今年度	成果（実績）	・救急分野については、救急活動事後検証作業（月１回）と連動した訓練や教養研修及び救急救命士の再教育（病院実習４名）の質向上を目的としたスキル確認を実施した。 ・救助分野については、災害区分に応じた活動マニュアルの整備に向けての課題及び必要なマニュアルの抽出を実施した。
	課題	・救急分野については、出動件数が増加する中での研修は、指導救命士や経験豊富な職員への事務負担が懸念され指導者養成の検討が必要である。 ・救助部門においては、多様化する災害へ対応するために近隣市町消防との連携活動は必要であるものの、互いの消防力把握及び訓練場所の選定などに時間を要す場合がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

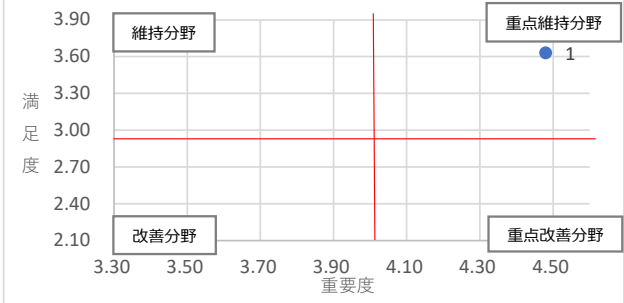
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	消防車両管理経費				所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民	目的	車両及び装備品の法令点検や修繕を行い消防業務の維持を図る。				
事業概要	各種災害に対して適切な消防活動を確保するため、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理し、消防・救急体制の充実を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	消防車両管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	5,515	4,082				
	概算人件費	3,816	3,800				
トータルコスト		9,331	7,882	0		0	0
国庫/県支出金		0	0	0		0	0
その他		0	0	0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	人		千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計				0 千円	

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・職員による日常点検と法定点検及び車検整備を適切に実施するとともに、必要な緊急修繕に迅速に対応しており、消防活動を維持するために必要な消防・救急車両の維持管理に努めている。
	課題	・適切な点検を実施しているものの予測不能な故障による車両運行停止を回避するために、故障前に交換すべき部品等の検討と修理期間中の代替車両等の活用などによる消防力の維持についても同時に検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	消防・救急車両更新事業				所管課	消防課・消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	最新の車両・資機材の導入して機能強化を図り、多様化する消防救急需要に対応する。				
事業概要	消防力を維持するために計画的に車両更新を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	大事業		
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	20,317	40,093				
	概算人件費	4,649	8,000				
	トータルコスト	24,966	48,093	0	0	0	
	国庫/県支出金	4,360	23,356	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	13.08 人		4,649 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,649 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
① 車両更新整備数（常備）	計画値	－	0	2	0	1	0
	実績値		0				
② 車両更新整備数（非常備）	計画値	－	1	0	1	0	1
	実績値		1				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・消防課は、車両等更新計画に基づき、第3分団消防ポンプ車を更新した。 ・消防署については、救急自動車及び積載車更新に伴う仕様検討を実施した。
	課題	・万全の消防救急体制に向けて車両更新を整備しつつ、町全体の状況等を考慮して、更新計画の見直しの検討が必要である。 ・消防署については、積載車更新が計画延伸されたことにより令和6年度においても仕様を継続検討する。 ・近年の物価上昇によるコストアップへの対応が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	消防団運営経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	消防団・事業所	目的	消防団員の処遇や適切な運用管理を行う。				
事業概要	災害に備え、条例及び規則に定める消防団を運営管理するための経費。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	02	大事業	消防団運営経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	18,955	25,919				
	概算人件費	1,192	1,192				
	トータルコスト	20,147	27,111	0	0	0	
	国庫/県支出金	77	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.23 人		1,192 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,192 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	計画値						
	実績値						
②	計画値						
	実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・通常業務以外に、団員の確保、処遇改善を趣旨に、休団制度、団員入団条件の緩和のため条例を改正した。
	課題	・安定した消防団員確保が課題であり、団員確保に向けた対策が課題である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	分団消防車両管理経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	消防団	目的	資機材を計画的に更新整備するとともに、資機材の配備を見直し再整備することで、消防力の強化を図る。				
事業概要	消防団車両の整備及び装備品の強化を図り、出動体制の万全を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	02	大事業	分団消防車両管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	1,636	1,192				
	概算人件費	1,207	1,207				
	トータルコスト	2,843	2,399	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.28 人		1,207 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,207 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	資機材の更新・整備数	計画値	1	1	1	1	1
		実績値	1				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・車両更新時に、消防ホース、夜間消防活動資機材（LED投光器、発電機）、通信機器（トランシーバー6個）を更新。
	課題	・近年、全国的に局地的な集中豪雨による水害が発生しており、消防団においても水害対応資機材の充実を図り、消防力を高める必要がある。今後、コミュニティ助成事業等を活用し、水害対応資機材の導入を検討していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」					※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」				
1次評価(所管課)	総合評価	良好			方向性	現状維持			
2次評価（庁内）	意見								
	総合評価	良好			方向性	現状維持			

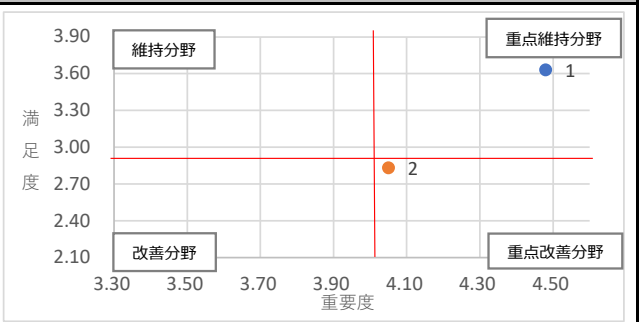
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	消防広域化への取組み（消防救急無線広域化・共同化等整備事業）				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規		町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
						●	
事業対象	職員・近隣市町		目的	消防広域化の検討と共同消防指令センターの整備・運用を適切に行い連携強化を図る。			
事業概要	消防通信指令業務の高度化と行政財政の効率化を図ることを目的に、無線機器や指令システム等の整備及び維持管理を共同で行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	消防無線広域化・共同化等整備事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	12,088	14,096					
	概算人件費	863	863					
トータルコスト		12,951	14,959		0		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 5 概算人件費	正規職員	0.17 人			863 千円			
	再任用職員	人			千円			
	会計年度任用職員	人			千円			
	その他	人			千円			
	合計			863 千円				

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	消防広域化の検討/共同消防指令センターの運用	計画値	—				
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実	4.48	3.63
2	広域連携の推進	4.05	2.83
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	—
	課題	—
今年度	成果（実績）	・連携・強化に係る共同消防指令センター共同運用では、運営委員会や協議会を開催して、適切な予算運用や情報共有等を図る。機器更新等といったハード面の事業はない。
	課題	・将来的な消防広域化を踏まえ、近隣市町との広域連携を深めていくことが大切である。 ・国の消防の広域化推進期限である令和6年4月1日に向け、持続可能な消防力の維持のため、広域化への調査研究が必要である。また、連携・強化では、車両や資機材などの効率的な運用・整備の研究・調査の検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持